

調査事項

調査事項（事前調査）

- 実施自治体、対象年齢
- 意見聴取機会の確保方策 ※代表的な取組を1つ調査するのではなく、様々な取組について重層的に調査を実施
- こども意見反映・参加に係る政策・戦略・計画、対象年齢、対象政策、政策決定過程、影響範囲

調査事項（本調査）

1. こども・若者の参加・参画の意義・経緯等

1. こども・若者の参加・参画の意義（考え方）
2. こども・若者の意見反映・こども参画推進の経緯
3. こども・若者の参加・参画推進に至るまでの課題

2. こども・若者の参加・参画の機会・環境整備

1. 参加・参画するこども・若者の選び方と考え方
2. 声をあげにくいこども・若者の意見聴取の工夫
3. 参加・参画するこども・若者の年齢や発達段階に応じた聴く側の体制
4. 参加・参画するこども・若者の年齢や発達段階に応じた配慮事項
5. 直接の意見聴取以外のこども・若者の意見の反映方法
6. アナログとデジタルの活用と考え方

3. こども・若者の意見の政策への反映

1. こども・若者の意見聴取の影響とその評価
2. こども・若者から聴取した意見の反映方法とそのため
の工夫
3. 大人の意識・行動変容に向けた取組

4. こども・若者へのフィードバック

5. 成果と課題、今後の取組

ヒアリング調査候補（案）

➤ アイルランド、フィンランド、ニュージーランド及び E U を調査対象としてはどうか。

選定基準
<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>国レベルの取組</u>がある ■ <u>多くの子ども・若者の意見</u>を聴いている ■ 子ども・若者から意見を聴取するために、<u>重層的な取組がなされている</u> （子ども議会・子ども会議等において子どもが直接提言を行う仕組み、政策の企画立案の際のパブリックコメント、政策評価を行う委員への子どもの就任などの組み合わせ） ■ <u>デジタルプラットフォーム</u>を活用し、<u>幅広く多様な意見を聴こう</u>としている （自由な意見出し、あるいは国が設定したテーマに対する意見聴取のどちらでも可とする） ■ 子ども・若者から意見を聴く<u>取組が機能している</u>



	調査候補	備考
1	アイルランド	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・若者の参加・参画に関する国レベルの方針が定められている。 ・すべての州に置かれている若者会議からの代表者が、毎月会合を開くなど、有効に機能している。 ・関係省庁からの意見聴取に対応している。
2	フィンランド	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・若者の参加・参画に関する法律が定められている。 ・子ども・若者が自由に意見を投稿できるオンラインプラットフォームがあったが、省庁、自治体、NGO等が設定する特定のテーマについて意見を募集する形態に移行中。その変遷経緯は、日本における検討の参考にできる。
3	ニュージーランド	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・若者の参加・参画に関する国レベルの方針が定められている。 ・子どもの意見聴取に関し、重層的な取組がなされている。 ・地域バランス
4	E U	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなEU戦略の策定にあたり、その中身や優先事項について、11～17歳の子ども約1万人から意見を聴取し、反映。 ・オンラインによる意見募集のほか、社会的養護・貧困状態の子どもについては対面（一部オンライン）での聞き取り（約500人）も実施。 ・EUレベルの意思決定への子どもの参加・参画を確保するため、オンラインプラットフォームを準備中。